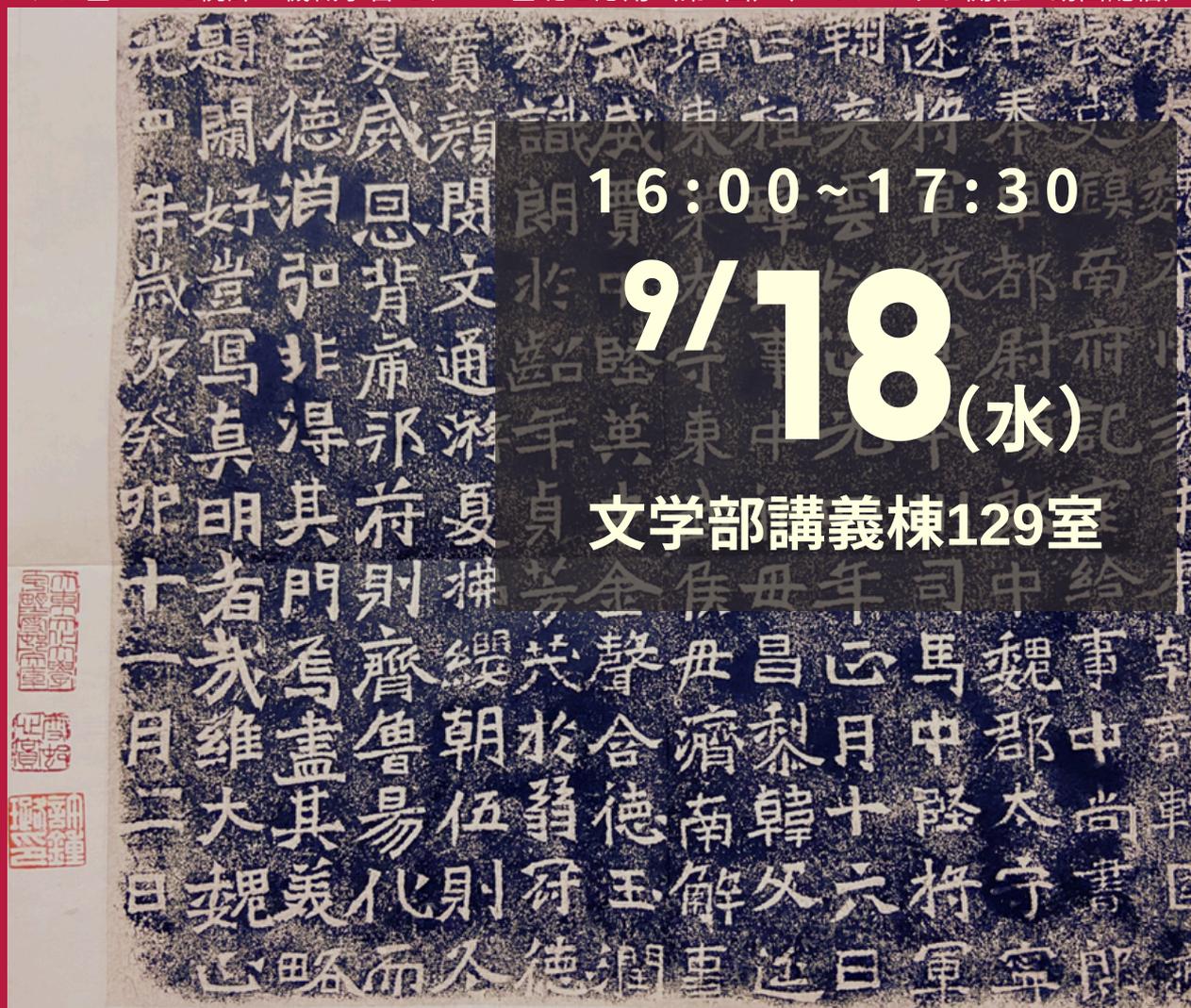


ーテキストマイニングを中心にー

歴史学研究における探索的データ分析の紹介



16:00~17:30

9/18 (水)

文学部講義棟129室

## 大知聖子

准教授 名城大学

探索的データ分析（EDA）とは仮説やモデルに基づいてデータを説明・検証する前に、データの特徴をおおまかに可視化し、データから可能な仮説やモデルを探るという手法である。EDAの中で使用頻度が高いのは、自然言語のテキストデータに対するものであり、具体的にはワードクラウド・ネットワーク図・単語出現頻度グラフ・トピックモデルなどがツールとして用いられる。これらはテキストマイニングとも呼ばれる。EDAによって史料を集計・要約・可視化することは、歴史学研究において重要な利点がある。今回は講師が専門とする中国史研究におけるEDAの具体的な活用例を示すことで、歴史学におけるEDAの有用性を紹介したい。

併せてデジタル・ヒューマニティーズ分野における最大規模の国際学会DH2024（8月開催）の研究動向についても紹介する。

お気軽にご参加ください

- どなたでも参加できます
- 参加費無料
- 事前申し込み：不要
- Zoomリンク、配布資料、配信動画(後日)など、QRコード/[URL](#)でご確認ください

